第6章

共有フォルダの設定

この章ではホスト OS とゲスト OS の間でフォルダを共有するための設定 を行う手順を解説します。

6.1 仮想マシンへの共有フォルダ追加

VirtualBox マネージャーを開きます。Ubuntu が実行中の場合は、終了してください。

🦁 Oracle VM VirtualBox マネージャー	
ファル(F) 仮想マシン(M) ヘルプ(H)	
新規(N) 設定(S) 販売 起動(T)	
Ubuntu 16.04 ② 電源オフ	 一般 名前: オペレーティングジ システム メインパモリー: 起動順序:

図 6.1 VirtualBox マネージャー

VirtualBox マネージャーで「Ubuntu 16.04」を選択し、「設定」ボタンを クリックします。

一般	共有フォルダー			
🚺 ୬ステム	フォルダー リスト(F)			
न्यरीप	名前 パス 共有フォルダー	自動マウント	アウセス権	
2 ストレージ				Ē
🍹 त-न्यंत				
ネットワーク				
>))7)1/1-1-				
🖇 USB				
共有フォルター				
👖 ユーザーインターフェース				

図 6.2 フォルダ追加アイコンをクリック

設定ダイアログで「共有フォルダー」セクションを選択し、右端にある フォルダ追加アイコンをクリックします。

🥝 共有フォルダー	-の追加	?	×
フォルダーのパス: フォルダー名:	<選択されていません> <選択されていません> / <		~
	OK	キャン	セル

図 6.3 フォルダのパスを選択

セレクトボックス「フォルダーのパス」から「その他」を選択します。

フォルダーの参照	Х
Select a directory	
ニ. デスクトップ	
> 🐔 OneDrive	
> 🤱 Tsutomu Kuroda	
> 💻 PC	
> 🏹 ライブラリ	
> 🥏 ネットワーク	
> •�� ホームグループ	
shared	
新しいフォルダーの作成(N) OK キャンセノ	4

図 6.4 shared フォルダを 作成して 選択

「フォルダーの参照」ダイアログが開きます。「デスクトップ」を選択して から「新しいフォルダーの作成」ボタンをクリックし、「shared」と入力して Enter キーを押します。そして、「shared」フォルダを選択したうえで「OK」 ボタンをクリックします。

🧐 共有フォルダーの追加	?	×
フォルダーのパス: 📙 C:¥Users¥¥Deskto	p¥share	:d ~
フォルダー名: shared		
🗌 読み込み専用(R)		
✓ 自動マウント(A)		
OK	ten	. -7.11
UK I	- 77/	

図 6.5 「 自動マウント」をチェックする

チェックボックス「自動マウント」をチェックして、「OK」ボタンをク リックします。

🥝 Ubuntu 16.04 - 設	Ē		?	×
📃 一般	共有フォルダー			
🗾 হ্যস্ট	フォルダー リスト(F)			
📃 รัสปา	名前 パス マ 共有フォルダー	自動マウント	アウセス権	
😥 スHレージ	shared C:¥Users¥kuroda¥Desktop¥shared	はい	完全	ā
┣ त-न्द्रत				
₽ ネットワーク				
🐊 ୬J/MLポート				
🏈 USB				
📄 共有フォルター				
<u>-</u> ユーザーインターフェー	λ			
L	OK Å	キャンセル	ヘルプ(, H)

図 6.6 共有フォルダの追加完了

共有フォルダが正しく追加されたことを確認し、「OK」ボタンをクリック します。

6.2 共有フォルダのアクセス権設定

VirtualBox マネージャーで「Ubuntu 16.04」を選択し、「起動」ボタンを クリックします。パスワードを入力して Ubuntu にログインします。 端末を起動して、以下のコマンドを順に実行してください。

\$ sudo usermod -a -G vboxsf kuroda
\$ ln -s /media/sf_shared ~/shared

ただし、1 番目のコマンドの kuroda は、Ubuntu インストール時に設定 したユーザー名で置き換えてください。

システムメニューの「ログアウト」を選択し、表示されるダイアログで「ロ グアウト」ボタンをクリックして Ubuntu からログアウトします。そして、 もう一度、パスワードを入力してログインしてください。

6.3 共有フォルダへの書き込み試験

ゲスト OS(Ubuntu) の端末で次のコマンドを実行します。

```
$ echo TEST > ~/shared/test.txt
ホスト OS( Windows) のデスクトップにある「shared」フォルダを開き、
```

そこに test.txt という 名前のファイルができていることを 確認してください。

次に、このファイルをメモ帳で開き、その中身を「TEST」から「OK」に 変更して保存します。

ゲスト OS(Ubuntu)の端末に戻り、次のコマンドを実行します。

\$ cat ~/shared/test.txt

端末に「OK」と表示されれば共有フォルダが正常に機能しています。

うまく行かない場合は、まずこの節の最初に行ったコマンドの実行結果 を見なおしてください。エラーが出ている場合は、コマンドの入力内容を チェックしてください。

次に、Ubuntuを終了して VirtualBox マネージャーに戻り、仮想マシン の設定を確認します。設定ダイアログの「共有フォルダー」セクションを開 き、共有フォルダ「shared」の「自動マウント」が「はい」、アクセス権が 「完全」になっているかどうか確認してください。そうでなければ、ダイア ログ右端に並んでいる3個のボタンの2番目をクリックし、設定を変更しま す。「読み込み専用」のチェックを外し、「自動マウント」にチェックを入れ て「OK」ボタンをクリックしてください。